

## 「研究のあゆみ」に寄せて

幼児期の子どもたちにとって、全身をダイナミックに用いて活動する運動遊びは、身体的な側面ばかりでなく、人間として必要な多くの能力の発達を促すことにつながります。しかし、近年における子どもたちを取り巻く環境の変化は、子どもたちの遊び自体を変容させていると言われます。特に、「三間」といわれる子どもたちが十分に遊びを楽しむことのできる必要な要素、すなわち、遊ぶための時間、遊ぶための空間、遊び仲間の減少は、身体活動を行う機会の減少に拍車をかけていると言われてしています。その結果、幼児期におけるさまざまな身体的な動きの経験不足が、この時期に身に付けておくべき初歩的な動作や身体をコントロールする力などの体力・運動能力の低下を招く一因になっていると考えられます。

このような状況の中で、平成 22 (2010) 年、柏市幼児教育共同研究「こころ からだ はずむ 柏っ子」は、「みんなで運動遊びが大好きな子どもを育てよう」というテーマのもとで、柏市内全幼稚園 34 園（現在は 33 園）の協力のもとで始められました。その後、市内の全ての保育園のご協力も得て、柏市の全ての幼児教育に関わる機関が協力して研究が進められ、今年度は 5 周年の節目を迎えました。特に、その節目の事業として、平成 26 年 11 月に記念イベント「みんなで遊ぼう 60 分！！」が開催されました。共同研究では、『子どもたちの身体活動を促進するためには、園の中ばかりでなく、家庭での取組も大切であり、保護者に対して幼児期に楽しく身体を動かすことの大切さを知っていただく働きかけをする必要がある』と考えてきました。その一環として企画されたのが、このイベントでした。イベントの中心は、各園の先生方によって工夫・考案された運動遊びを、実際に子どもたちが体験できるように準備された「楽しい運動遊びブース」でした。ブースでは、各園の先生方のご指導のもとで、子どもたちが遊びに対する探求心を存分に発揮し、夢中になって遊ぶ姿を見ることができました。他にも、フィールドの芝生上でのラクビー体験、相撲用マット上での相撲体験など、普段は経験できないような遊びや中央に設けられたステージでの楽しいイベントなどが用意され、参加した子どもたちはさまざまな遊びを体験し、その楽しさを十分に満喫することができたと思います。このような体験の場が用意されたことは、保護者ばかりでなく、幼稚園・保育園の先生方にとっても、身体を使う遊びの大切さを再認識していただく絶好の機会になったのではないかと思います。当日、会場となった柏の葉公園総合競技場には、保護者等を合わせて約 13,000 人の来場者があり、その目的を十分に達成することができたと思います。

さて、各園では、この 5 年間を通して、毎年 1 学期に年中児と年長児を対象とした運動能力測定を実施し、その結果を踏まえて、幼児達が楽しみながら取り組むことのできる運動遊びを工夫・考案し、日常の保育の中での実践と評価を繰り返しながら研究が推進されてきました。それらは、各年度の「共同研究のあゆみ」の中に、「各園での実践報告」としてまとめられています。大変なご苦労もあったと思いますが、各園における実践の蓄積は、大変貴重な資料となりました。また、市内の全ての幼児教育に関係する機関が連携、協力して一つのテーマに沿って研究を進めている例は、全国的に見ても極めて希であり、子どもたちの健やかな育ちを柏市全体で支えていくとする熱意が表れているといえましょう。一方、このような取組に加えて、幼児達の日常生活習慣や身体活動の状況を把握することを目的として、質問紙調査を実施してきました。この 5 年間、継続して調査してきた幼児の生活の中で、『保育中における自由遊び時間に戸外に出て遊ぶ子どもの割合が年々増加する傾向にある』ことがわかりました。自ら進んで戸外でからだを動かして遊ぶ子どもの数が増加したことは、各園における日常の保育での取組の成果の現れと考えることができます。また、質問紙調査の分析の結果、就園前の子どもの身体活動や保護者の養育態度や日常の身体活動時間が、幼児の運動能力に影響を与えている可能性が示唆されるなど、これからの幼児達の身体活動や運動能力を考えていく上で、興味深い結果を得ることができました。

前述したように、共同研究は一区切りを迎えます。今後も、この 5 年間の研究成果の蓄積を生かしながら、子どもたちが楽しくからだを動かしながら、さまざまな動きを身につけ、運動能力の向上を図ることができるような運動遊びの実践が、継続されていくことを願っております。また、保護者への働きかけも、それぞれ園での実情に応じた形で、継続されていくことが、子どもたちの健やかな育ちにつながると思います。

最後になりましたが、共同研究の成果は、研究の中心的な役割を担った研究推進委員の皆様、また、現場で研究を推進していただいた市内の幼稚園、保育園の皆様のご協力の賜だと思っております。今後も、皆様が共に手を携え、柏市全体の幼児教育の充実と発展が図られることを祈っております。

聖徳大学大学院・太田繁